

公益社団法人日本薬学会
第 5 回薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラムの
改訂に関する調査研究委員会議事録

日時:平成 24 年 7 月 22 日(日)10:30～13:00

場所:日本薬学会長井記念館 2 階 AB 会議室

出席:松木委員長

赤池, 有賀, 入江, 太田, 奥, 亀井, 河野, 鈴木, 須田, 平田,

本間, 政田, 増野, 望月, 吉田 各委員

オブザーバー: 村木総務担当理事

伊東, 日下部(文部科学省) 江田(厚生労働省) 各行政官

欠席:白幡, 高橋, 中村, 新田, 松原 各委員

事務局:土肥総務課長

報告事項

1. 文部科学省薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会報告

太田委員(文部科学省薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会(以下 文科省専門研究委員会)副座長)から7月18日付けで発出された通知(別紙1)について報告があった。

本通知は、文科省専門研究委員間でメール会議を開催して了承を得たものであることを受けて、参考にしつつ作業を進めることで一致した。また、折々に文科省専門研究委員会へ作業の進捗状況を開示していくことを改めて確認した。

2. 平成 24 年度スケジュール

文科省専門研究委員会に提出した作業スケジュールについて、確認した。

協議事項

1. 薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム委員案

再検討を行い、別紙2のとおりとした。

なお、日本薬剤師会の役員改選に伴い、森 昌平委員から永田泰造委員へ変更となった。

2. 基本的な資質とGIOの関係について

各グループから再提出されたたたき台について、意見交換を行った。

3. 「モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム」(略 改訂チーム)

キックオフミーティングの提案

赤池委員から提案の説明があった。

意見交換の結果、別紙 3 のとおり開催することとした。具体的には今回の基本的な資質とGIOの関係をたたき台として提示し、問題点の抽出および共有を行う。

さらに、キックオフミーティングへ向けて、松木委員長がこれまでの本委員会での協議で合意を得た事項をまとめて、8 月中を目途に、委員へ提示することとした。

また、今後の改訂チームの作業について、次のように申し合わせた。

- ・ メール会議を含めてグループ会議を行う際は、必ず会議内容の記録を残す。
- ・ 会議を欠席した委員には、該当のグループからその委員へ確実に事後報告する。

以上

平成24年7月18日

公益社団法人日本薬学会

薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラムの

改訂に関する調査研究委員会委員長 殿

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム委員 各位

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂方針に関する決定事項について（通知）

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会

座長 市川 厚

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度は、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関して多大なる御協力をいただき大変ありがとうございます。これまで、今回の薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関し、実務実習モデル・コアカリキュラムとの統合、全体のスリム化等大枠での方向性を提示してまいりましたが、7月9日に開催された本委員会において、カリキュラム作成のより具体的な方向性について検討し、以下のような結論に至りましたので御報告申し上げます。

- 1 「F 臨床教育」に関しては全面改訂すること。その中に、「医薬品の安全性」に関する項目を取り入れること。
- 2 「A 基本事項」「B 導入教育」についても、より広い視点から見直すこと。
- 3 その他の大項目については、Fとの関連性を重視しながら削減の方向で見直すこと。

今回の改訂作業については、現行のコアカリの内容整理、削減を前提とする改訂作業ですが、本委員会では、各大項目に対して一律に同じ削減方法を適用することはできないと結論付けました。特に「F 薬学臨床教育」は、改訂後のカリキュラムで学んだ学生が社会に出た時の薬剤師が必要とする新たな内容を含まなくてはなりません。したがって、現行カリキュラムの枠組みを超えた議論を行う必要があります。また、その中で、薬剤師が主体的に行うべき「医薬品の安全性」確保についての学習項目を強化すべきという強い意見が提案されています。

また、「A 基本事項」「B 導入教育」に関しても、Fと同様に薬学では歴史の浅い学習項目であり、現行のものが妥当であるか否かも含め、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容等を参考にしながら決定していく必要があると考えます。

その他の大項目については「F 薬学臨床教育」との関連性を重視し、Fの改訂作業を視野に入れながら改訂、整理を行う必要があります。

上記の改訂方針を御理解の上、今後の改訂作業をお進めいただきたく、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム委員

1G(A基本事項(含社会薬学教育), B導入教育, G薬学研究)

	赤池 昭紀	薬学会コアカリ委員	6G兼任
	石川 さと子	慶應義塾大学	
	大原 整	日本薬剤師会	
	小澤 孝一郎	広島大学	
	桂 正俊	日本薬剤師会	
	亀井 美和子	薬学会コアカリ委員	5G兼任
	川上 純一	日本病院薬剤師会	6G兼任
	黒田 照夫	岡山大学	
	立石 正登	長崎国際大学	
	中川 左理	神戸学院大学	
	中嶋 弥穂子	崇城大学	
責任者	中村 明弘	薬学会コアカリ委員	
	中村 敏明	日本病院薬剤師会	
	野呂瀬 崇彦	北海道薬科大学	
	長谷川 洋一	名城大学	
	平井 みどり	日本病院薬剤師会	
	古澤 康秀	明治薬科大学	
	増田 和文	就実大学	
	松永 民秀	名古屋市立大学	
	吉田 博明	薬学会コアカリ委員	

2G(C薬学基礎教育:化学)

	石崎 幸	城西国際大学	
	内呂 拓実	東京理科大学	
	大坪 忠宗	広島国際大学	
	奥 直人	薬学会コアカリ委員	4G兼任
	金田一 成子	日本薬剤師会	
	周東 智	北海道大学	
	高須 清誠	京都大学	
	谷口 雅彦	大阪薬科大学	
	寺田 智祐	日本病院薬剤師会	
	西村 基弘	安田女子大学	
	本間 浩	薬学会コアカリ委員	
責任者	増野 匡彦	薬学会コアカリ委員	
	眞鍋 敬	静岡県立大学	
	松本 司	いわき明星大学	
	三浦 剛	岐阜薬科大学	
	山岸 丈洋	奥羽大学	

3G(C薬学基礎教育:物理)

	荒井 健介	日本薬科大学	
責任者	入江 徹美	薬学会コアカリ委員	
	上原 知也	千葉大学	
	四宮 一総	日本大学	
	白幡 晶	薬学会コアカリ委員	
	鈴木 巖	高崎健康福祉大学	

須田 晃治	薬学会コアカリ委員
高波 利克	明治薬科大学
中山 尋量	神戸薬科大学
古野 忠秀	愛知学院大学
松野 純男	近畿大学
眞野 成康	日本病院薬剤師会
宮本 和英	姫路独協大学
山田 純一	日本薬剤師会
吉田 秀幸	福岡大学

4G(C薬学基礎教育:生物)

	有賀 寛芳	薬学会コアカリ委員	
	伊藤 潔	九州保健福祉大学	
	大熊 芳明	富山大学	
	大橋 綾子	岩手医科大学	
責任者	奥 直人	薬学会コアカリ委員	2G兼任
	川崎 清史	同志社女子大学	
	木立 由美	青森大学	
	高橋 悟	武庫川女子大学	
	築地 信	星薬科大学	
	富田 泰輔	東京大学	
	中森 慶滋	日本薬剤師会	
	橋本 均	大阪大学	
	平田 収正	薬学会コアカリ委員	5G兼任
	福原 正博	新潟薬科大学	
	前田 拓也	兵庫医療大学	
	山田 武宏	日本病院薬剤師会	

5G(D衛生薬学)

	足立 達美	千葉科学大学	
	小椋 康光	昭和薬科大学	
責任者	太田 茂	薬学会コアカリ委員	
	大谷 壽一	日本病院薬剤師会	
	上村 直樹	薬学教育委員	
	亀井 美和子	薬学会コアカリ委員	1G兼任
	工藤 なをみ	城西大学	
	見坂 武彦	大阪大谷大学	
	榊原 明美	日本薬剤師会	
	角 大悟	徳島文理大学薬学部	
	戸田 晶久	第一薬科大学	
	野地 裕美	徳島文理大学香川薬学部	
	原田 均	鈴鹿医療大学	
	平田 収正	薬学会コアカリ委員	4G兼任
	平野 和也	東京薬科大学	
	矢ノ下 良平	帝京平成大学	

6G(E医療薬学教育)

	赤池 昭紀	薬学会コアカリ委員	1G兼任
	家入 一郎	九州大学	
	出雲 信夫	横浜薬科大学	
	伊藤 清美	武蔵野大学	
	伊藤 智夫	薬学教育委員	
	川上 純一	日本病院薬剤師会	1G兼任
	河野 武幸	薬学会コアカリ委員	
	小暮 健太郎	京都薬科大学	
	小林 道也	北海道医療大学	
	酒井 郁也	松山大学	
	佐久間 信至	摂南大学	
	高野 克彦	北陸大学	
	高山 朋子	日本薬剤師会	
	田中 芳夫	東邦大学	
	辻 稔	国際医療福祉大学	
	服部 尚樹	立命館大学	
	政田 幹夫	薬学会コアカリ委員	7G兼任
責任者	望月 眞弓	薬学会コアカリ委員	

7G(F薬学臨床教育)

	尾鳥 勝也	北里大学	
	木内 祐二	昭和大学	
	幸田 幸直	薬学教育委員	
	佐藤 英治	福山大学	
責任者	鈴木 匡	薬学会コアカリ委員	
	高橋 寛	薬学会コアカリ委員	
	滝口 祥令	徳島大学	
	中嶋 幹郎	長崎大学	
	永田 泰造	薬学会コアカリ委員	
	中村 仁	東北薬科大学	
	新田 淳美	薬学会コアカリ委員	
	野村 忠之	日本薬剤師会	
	前田 徹	金城学院大学	
	政田 幹夫	日本病院薬剤師会/薬学会コアカリ委員	6G兼任
	松下 良	金沢大学	
	松原 和夫	薬学会コアカリ委員	
	村井 ユリ子	東北大学	
	矢野 育子	日本病院薬剤師会	
	山下 美妃	北海道薬科大学	
	山本 晃之	日本薬剤師会	
	渡邊 博志	熊本大学	
	渡邊 真知子	帝京大学	

薬学教育モデル・コアカリキュラムおよび実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に関する
調査研究委員会
「モデル・コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム」(略 改訂チーム)
キックオフミーティング

1 日程

日時：平成 24 年 9 月 3 日(月)10:30～16:30

場所：日本薬学会長井記念ホール(東京都渋谷区渋谷 2-12-15)

2 手順

- G 別にファシリテータを 3 名(薬学会コアカリ委員)。うち 1 名は責任者とする。
- 改訂チームの作業日ごとに、G 別に三役(進行と書記と報告者)(薬学会コアカリ委員ではない方)を互選する。

3 概要

10:00 受付開始

10:30～10:35 松木委員長挨拶

第一部 オリエンテーションー改訂作業方針の全体説明と共有ー

10:35～10:50 文部科学省「薬学教育におけるカリキュラム改革」

10:50～11:10 太田委員「各団体及び関係団体への調査結果を踏まえて」

11:10～11:30 赤池委員「カリキュラム改訂の基本方針について」

11:30～11:50 総合討論

11:50～12:00 入江委員 作業説明

12:00～12:45 昼食

第二部 グループ別作業

12:45～15:00 SGD

15:00～15:15 休憩

15:15～16:15 全体討論

16:15～16:20 文部科学省コメント

16:20～16:25 厚生労働省コメント

16:25～16:30 挨拶、解散

4 その後、第6回薬学会コアカリ委員会の開催

同日の16:30～17:30